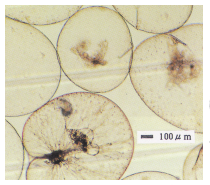
# 伊勢湾の症状「赤潮」・「苦潮（青潮）」

## ○赤　潮

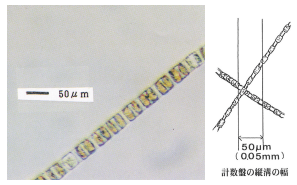
植物プランクトン（海にただよう小さな生物）が異常に増えることにより、海水の色が赤色や褐色を呈する現象



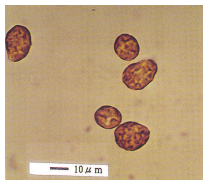
**赤潮プランクトン類**



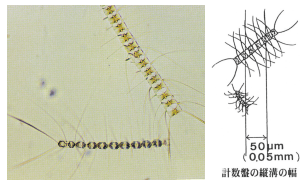

▲ノクティルカ シンチランス（夜光虫）
出現時期：5～11月（伊勢湾中部～南部沖）




▲スケレトネマ コスタータム
出現時期：周年（伊勢湾北部～鳥羽沖、尾鷲湾、引本湾）
のりの色落ちの原因になることがある




▲ヘテロシグマ アカシオ
出現時期：4～8月、10～11月
（伊勢湾沿岸～引本湾に至る各浦湾）




▲キートセロス SPP
出現時期：周年（伊勢湾北東部～南部）
のりの色落ちの原因になることがある

出典：三重県の赤潮生物

## ○苦潮（青潮）

酸素が少ないうえに毒物（硫化水素）を含んだ水の塊（貧酸素水塊）が海の底付近から浅場に浮上し、海水の色が乳白色を帯びた青又は緑色を呈する現象



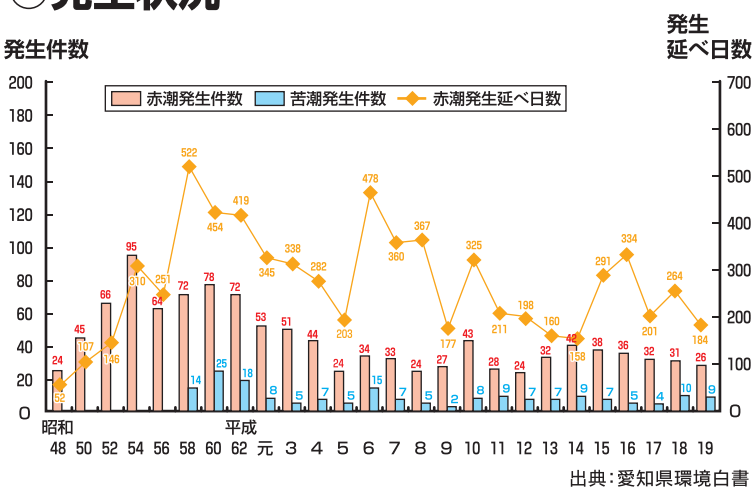


▲へい死した魚

▼へい死した貝



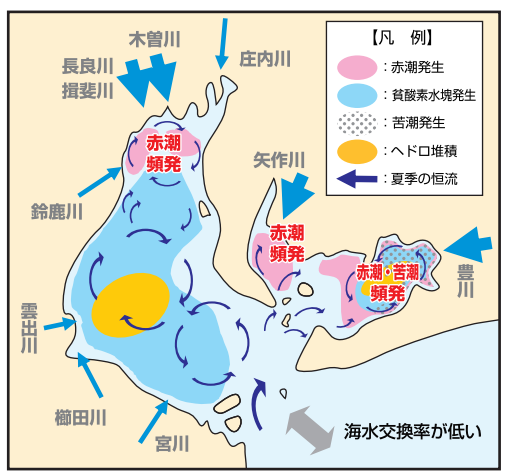
## ○発生状況




出典：愛知県環境白書

赤潮も苦潮も、見た目が悪くなるだけでなく、酸素不足、有毒物質等により魚や貝が大量に死ぬなど多くの被害を与えます。

**よく発生する地域**




出典：中部地方整備局パンフ「みんなで取り組む伊勢湾再生」より作成